

木道工事概要

平成17年度
知床国立公園知床五湖園地整備工事

工事の期間

平成17年8月22日～平成18年1月31日

工事概要

木道工 L=250m W=3.0m

トド松、カラ松 道産材使用

展望台 1基 10m×8m

基礎 軟弱地盤新基礎 300基

人力施工可能なピンを地中にある角度をもって数本打ち込むことにより、構造物の支柱に必要な支持力を与える工法です。

一般的なコンクリート基礎工法では重機で地面を大きく掘削し、基礎ブロックを設置しますが、この工法は地盤面の大きな掘削が不要なく基礎コンクリートも不要です。

電気柵 250m×10条 1式

施工者

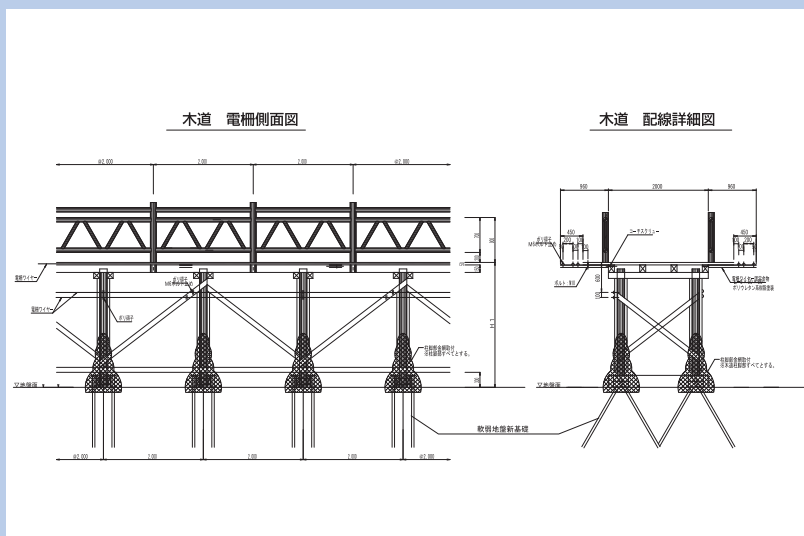
斜里建設工業株式会社

発注者

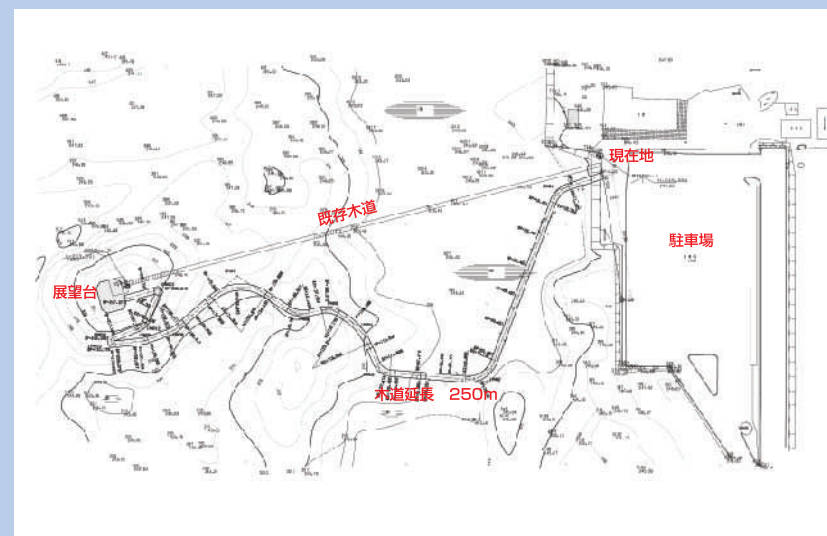
環境省 東北北海道地区自然保護事務所



木道標準図



木道平面図



環境省

知床五湖は、年間約50万人が訪れる景勝地であるとともに、良好な自然環境が残されたヒグマの生息地です。

知床五湖では、平成7年頃からヒグマの目撃が増え始め、現在でも5月下旬から8月上旬までの期間を中心に年間50件前後の目撃があり、ヒグマと人間の関係、特に来訪者の安全確保が懸念されています。

このようなことから、環境省はヒグマ本来の生息地である知床五湖でヒグマの駆除（殺処分）を極力行わずに安全を確保し、なおかつ知床五湖が本来持つ魅力を十分満喫していただくことを目的に、知床五湖の自然環境の保全とより良い利用のあり方について検討しています。

地元関係者の方々との意見交換などを行い、新たにヒグマ対策が施された木道を設置して自由で安全な利用を維持するとともに、現在の一湖～五湖の遊歩道についてはある程度利用を制限することで来訪者の安全、ヒグマの生息地の保全、より良い利用の提供を実現していくこととしました。

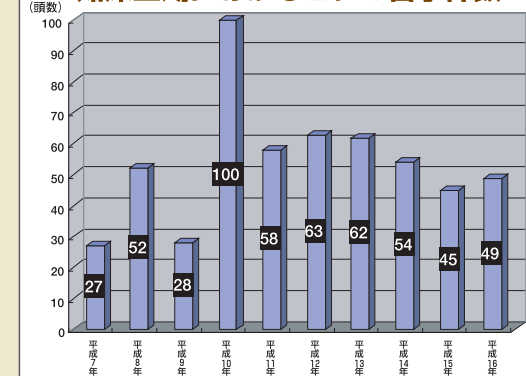
本工事は、上記取り組みの一環として行われるヒグマ対策が施された木道の工事です。

この木道は、地面から床面までの高さを確保するだけでなく、脚部に電気柵を設置することでヒグマが木道によじのぼることができない設計になっています。

また、現在の遊歩道からの景観を極力阻害しないようにルートを選定がなされています。

みな様には、工事によりご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解とご協力をお願い致します。

知床五湖におけるヒグマ目撃件数



知床五湖歩道規制日数

